

7 / 16 (金) の行事

はじめよう、つづけよう。

「**新北海道スタイル**」



～新型コロナウイルスに強い北海道をつくる～ 新北海道スタイル

報道発表資料の配付日時 7月15日(木) 10時00分

発表項目 (行事名)	北海道脱炭素モデル地域構築懇話会の開催について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>第1回の「北海道脱炭素モデル地域構築懇話会」を次のとおり開催しますので、お知らせします。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 日時 令和3年(2021年)7月16日(金) 16:30～</p> <p>2 開催方法 オンライン開催 (道からはゼロカーボン担当課長が出席予定)</p> <p>3 取材場所 北海道庁12階 環境生活部環境局会議室 (札幌市中央区北3条西6丁目)</p> <p>4 議題(予定) (1) 脱炭素モデル地域構築調査検討事業の概要について (2) 脱炭素モデル地域候補の選定について (3) その他</p>		
参考	北海道脱炭素モデル地域構築懇話会開催要領及び構成員一覧(別紙のとおり)		
報道(取材)に当たってのお願い	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン開催とし、北海道庁12階 環境生活部環境局会議室に報道席を用意します。 ・会議資料は当日配付します。 ・マスクの着用のご協力をお願いします。 ・発熱や咳、くしゃみ等、風邪の症状がある方は取材をお控え願います。 		
他のクラブとの関係	同時配付	(場所)	
	同時レク		
担当 (連絡先)	環境生活部環境局気候変動対策課 (担当者: 課長補佐 三ツ木 寛史) TEL ダイヤルイン011-204-5334 内線24-310		

北海道脱炭素モデル地域構築懇話会開催要領

第1 目的

2050年までに道内の温室効果ガス排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボン北海道」実現に向けては、地域特性を踏まえた脱炭素化に向けた将来像や具体策を可視化した「脱炭素モデル」を道内各地に広げ、全道的な取組につなげていくことが必要である。その着実な遂行に向けては、環境・エネルギー分野のほか、様々な施策を分野横断的に進めることが必要なため、「脱炭素モデル」に関する各分野の専門性及び実践経験をもつ有識者を参集し、「脱炭素モデル地域」の形成に向けた専門的な助言を得ることを目的とする「北海道脱炭素モデル地域構築懇話会」（以下「懇話会」という。）を開催する。

第2 議題

懇話会の議題は、次のとおりとする。

- (1) 「脱炭素モデル地域構築調査検討委託業務」における調査、検討内容への意見
- (2) 地域の脱炭素化に向けた支援策の検討
- (3) その他、地域の脱炭素化のために必要な事項

第3 構成

構成員は、学識経験者等の中から北海道環境生活部環境局グリーン戦略担当局長が選定する。

第4 運営

- (1) 懇話会は、北海道環境生活部環境局グリーン戦略担当局長が召集し、主催する。
- (2) やむを得ない事由により懇話会の開催が困難な場合においては、議事を記載した書面を構成員に送付し、その意見等を徴することで懇話会の開催に代えることができる。
- (3) 懇話会に、座長を置き、構成員の互選により、これを定める。
- (4) 座長は、懇話会の議事進行を図る。座長が不在の場合は、予め座長が指名した構成員がその職務を代行する。
- (5) 懇話会には、構成員以外の者の出席を求め、意見を聞くことができる。

第5 その他

- (1) 懇話会の事務局は、北海道環境生活部環境局気候変動対策課に置く。
- (2) この要領に定めるもののほか、懇話会の運営に関し必要な事項は、北海道環境生活部環境局グリーン戦略担当局長が定める。

附則 この要領は、令和3年（2021年）6月25日から施行する。

第1回北海道脱炭素モデル地域構築懇話会構成員一覧

氏名	所属・役職
石井 一英	北海道大学大学院工学研究院教授
上園 昌武	北海学園大学経済学部教授
久保田 学	(公財) 北海道環境財団事務局次長
小高 大輔	環境省北海道地方環境事務所環境対策課長
鈴木 亨	(特非) 北海道グリーンファンド理事長
鈴木 大隆	(地独) 北海道立総合研究機構理事
仲埜 公平	(一社) 集落自立化支援センター代表理事

(五十音順、敬称略)